

安全のため 公共施設の照度確保を

答 調査して対応する



岡崎 晋 議員

問 中央公民館とちむぐくる館の玄関前の照度は私の照度計では0ルクス。私はこれまでに公民館玄関周辺での二件の骨折事故を確認している。利用者の安全のために照度を上げて欲しいがどうか。



中央公民館前の通路と車止め。夜間は暗く安全でない。

教育長 調査の結果、中央公民館玄関前から県道に至る通路の照度は1.7〜0.3ルクス。警察庁の照度基準では3ルクス以上。色々な方が利用するので、必要なところは改善していく。

民生部長 今後、ちむぐくる館の玄関前は利用者がいる時は照明を点灯する。

問 町長が唱える安全安心なまちづくりは、災害対応だけでなく、普段の生活環境や教育現場でも置き去りにされてはならない。体育館や運動場等、学校など公共施設内外の照度が基準に達しているか、調査し対処して欲しいがどうか。

町長 各施設は設計基準等の照度を確保しており、機器の劣化や破損には適宜対応していく。

空き家対策計画の策定と実態調査を早く

問 新川区には草木が繁茂している空き家が1戸、明らかに住人不在が6戸、不在らしきが2戸あり、町内では似た様な状況にあるのではないかと。早めに実態調査と空き家対策計画を策定して欲しいが

どうか。

町長 現在、崩壊の危険などの特定空き家はない。これまで本町では深刻化しておらず、計画策定に至っていない。



草木繁る空き家

問 国と県は市町村に計画策定を促している。隣家に影響を及ぼす家屋はあり、策定しないと必要な手続きが進められない。

住宅需要の高い本町ではマッチングなどで空き家を活用できるように、早めに計画を策定してもらいたい。

町長 地域の空き家状況や社会動向を確認し、必要に応じ対応する。